

資料 1

令和4年3月24日

山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟要望活動参加報告書

1. 日程

- ・令和3年11月17日

2. 場所

- ・防衛省近畿中部防衛局 竹内局長
- ・国土交通省近畿地方整備局 小林道路部長
- ・都府建設交通部 濱田部長

3. 陳情目的

- ・山陰近畿自動車道路等の早期の建設促進を求める要望書の手交をおこなうため

4. 要請陳情概要

I. 近畿中部防衛局 竹内局長（10:00～10:30）

近畿中部防衛局長の竹内芳寿氏を訪問。入室後直ちに順次名刺交換をし、要望書の手交を行う。その後、参加者全員で写真撮影の後、着席。

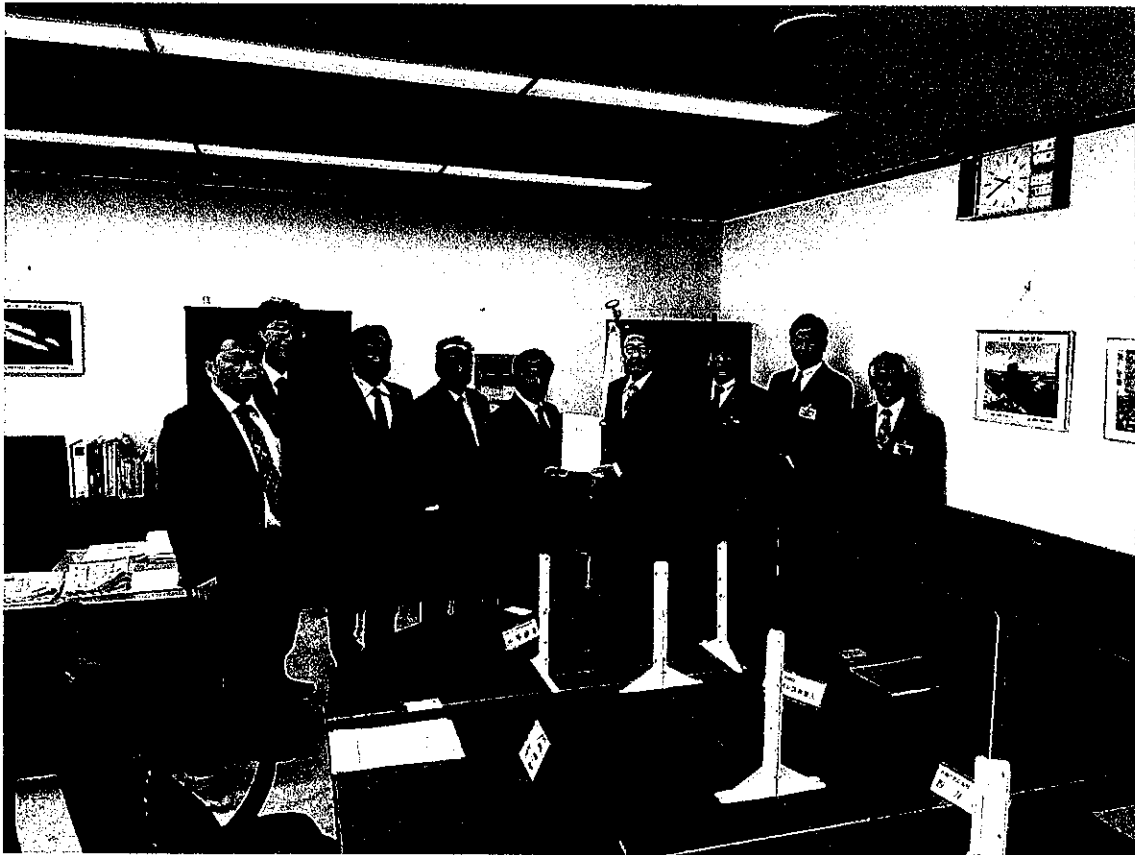
会長から、米軍基地に関連した道路事業として、京都府が事業主体であるが、多くの国府道の新設改良事業行っている。令和元年からの府道網野岩滝線における外村バイパス事業化に感謝申し上げる。今後においても、京都府の実施事業であるが、確実な予算確保についてご支援をお願いしたい。その上で、令和3年6月に京丹後市と丹後町区長連絡協議会で「屏風岩橋」建設要望を行っているが、議員連盟としても要望をし、民生安定事業の認定をお願いしたい。と申し上げた。

竹内局長からは、現在事業化している民生安定事業については、今後も支援していく。屏風岩橋の事業化については、米軍関係者の道路事情を調査し、できる限り支援ができるよう検討していくとの話をいただいた。

参加議員からも民生安定事業に係る多くの感謝の発言や米軍関係者のボランティア活動（海岸清掃、ハロウィン、演奏会、災害支援活動）に対する市民の感謝の声を伝えていただいた。その中で、丹後町には常備消防における消防車の配備並びに施設改修支援を民生安定事業で要望したいとの意見がでた。

竹内局長からは、京丹後市と調整し検討していくとの話があった。

また、森口顧問からも、多くの事業をお世話になり感謝申し上げます。その上で、今後は京丹後市内の高速道路とのアクセス関係でも民生安定事業でお世話になりたいと考えているので支援をお願いしたいとの発言があった。



近畿中部防衛局において竹内局長に要望書の手交

Ⅱ. 近畿地方整備局 小林道路部長 (11:00～11:30)

近畿地方整備局道路部長の小林賢太郎氏を訪問。入室後、直ちに順次名刺交換をし、要望書の手交を行う。その後参加者全員で写真撮影の後、着席。

会長から、峰山大宮道路の進捗について、河辺地区の用地買収、周枳地内の文化財調査、森本地内の橋梁4基の整備により、市民にも目に見える形で動いており感謝申し上げます。また、今年度は網野ICから府県境の概略ルート設計まで実施いただけると聞いて喜んでいる。その上で、要望事項の説明をした。1点目は、峰山ICまでの早期開通。2点目は、網野までの早期事業化。3点目は、網野から兵庫県境までの早期のルート決定、事業着手、更に山陰近畿自動車道の早期全線開通を要望した。

小林部長からは、5か年加速化対策のプログラムで山陰近畿自動車道は令和5年から本格的に進めると公表している。しかし、加速化対策は令和2年度から5年間かけて15兆円規模の事業を実施する計画となっているが、予算が確定したものではない。地元国会議員をはじめ財政当局への要望活動をお願いしたい。あわせて京都府に対しても要望活動をお願いしたいとの話があった。

参加議員からも、早期開通の必要性についての意見、現在通行している宮津から大宮森本間におけるストック効果を示す事例についての発言があった。

小林部長からは、丹後半島一周道路は海岸の景色も良いので、高速道路が整備されれば観光振興に繋がる。山陰近畿自動車道の整備は、3府県で連携して整備する方向で盛り上がっている。財政当局は道路整備については、交通量で判断しているが、国土交通省としても地方の道路が必要なことをしっかりと要望していくとの発言もあった。



近畿地方整備局において小林道路部長に要望書の手交

Ⅲ. 京都府建設交通部 濱田部長（15：45～16：15）

京都府 建設交通部建設交通部長の濱田禎氏を訪問。入室後直ちに順次名刺交換をし、要望書の手交を行い、その後参加者全員で写真撮影の後着席した。コロナ禍の中、正副会長、議長、幹事1名及び森口府議会議員のみの要望活動となった。

森口顧問から国府道整備事業のお礼と山陰近畿自動車道の整備については、地元京丹後市としても最大限の事業協力をするとの市長から確認している。京丹後大宮 IC まで高速が繋がれば観光客が3割増加するなど事業効果が現れている。引き続き早期全線整備をお願いしたいとの発言。

会長からは、大宮峰山道路の進捗と峰山インター線の用地買収の実施による進捗と市民からの期待の声をお伝えし、感謝を申し上げた。その上で4点について要望を申

し上げた。1点目として、大宮峰山道路の早期開通。2点目として、網野までの早期の事業化。3点目として、網野から兵庫県境までの早期のルート決定、事業着手、更には山陰近畿自動車道の早期全線開通。4点目として、五箇バイパス、屏風岩橋の事業化を求めた。

濱田部長からは、みなさんの道路整備に対する熱い思いは受け止める。全国から多くの団体が道路整備の要望にやってくる。山陰近畿自動車道もその一つであり、整備を実現させていくには具体的戦術論を考える必要がある。全国のミッシングリンクを解消するには、30兆円が必要と聞いている。京都府知事も国土交通大臣の要望事項の3つの中の一つに山陰近畿自動車道の整備を要望している。また、道路の必要性については、数値を用いて理論的に訴えていくべきである。

参加議員からは、山陰近畿自動車道の必要性をどのように理論化するか、議員連盟はもとより、執行部の担当者、他地域も巻き込んで議論できないか考えてみたいとの発言もあった。

森口顧問からは、風力発電事業構想や京丹後大宮 IC 開通以降に4件の企業立地の紹介があり、効果が出てきている。道路整備により、過疎化対策、医療体制強化を図っていききたいので支援をお願いしたいとの発言があった。



京都府建設交通部において濱田部長に要望書の手

5. 所見

山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟の防衛省近畿中部防衛局、国土交通省近畿整備局及び京都府建設交通部に対する要望活動については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言等により、日程調節に大変なご苦勞をいただいた中で、今年も11月実施となった。お忙しい中、同行いただいた森口顧問、調整をお世話になった建設部国府調整室の皆さんに感謝申し上げます。

また、例年、実施されている山陰近畿自動車道早期実現促進大会も府立文化会館で12月12日に盛大に実施することができた。また、令和2年度は、直前で中止となった「山陰近畿自動車道整備推進決起大会（東京大会）」が、今年度は各会場をリモートで結ぶ形で、令和4年1月19日に開催されたこともコロナ禍の中でも大きな意義がある大会となった。

今回の陳情要望活動において、私として山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟の活動において課題を見出すことができた。改めて議員連盟として、同じ問題意識の中で活動を推進していくことが大切であると考えている。1点目として、米軍経ヶ岬通信所を受け入れるにあたり、京丹後市民に再編交付金がどのように使われたか。また、国府道路の新設改良事業等における防衛省の民生安定事業の支援について、市民への理解が不足していると感じており、周知の在り方を検討すべきと考えている。

2点目として、国土強靱化における加速化対策について、2年前に京丹後市議会として意見書を採決することできなかったことに今も悔いが残っている。コロナ禍において「山陰近畿自動車道整備推進決起大会（東京大会）」が東京で開催がかなわない状況となっているが、感染状況が落ち着いたら地元選出国會議員、国土交通省、防衛省のみならず、財務省も含めた要望活動を実施する必要があることを議員連盟として協議していきたい。

3点目として、京都府建設交通部の濱田部長から指摘のあった件ですが、全国から数多くの陳情要望活動がある中で、道路の早期建設に対する熱量だけでなく、「整備を実現させていくには具体的戦術論を考える必要がある」、「道路の必要性については、数値を用いて理論的に訴えていくべきである」との発言に賛同するところである。議員連盟としてもこの件に関し真剣な議論はもとより、有識者も含めた多くの声を聞いていく必要性を痛感したところである。

要 望 書

令和3年11月

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

米軍経ヶ岬通信所設置に関連する道路整備に関する要望書

防衛省におかれましては、米軍経ヶ岬通信所設置に伴い、京都府が実施している主要地方道浜丹後線及び一般府道間人大宮線の整備に対して、多大な御支援をいただいております。厚くお礼申し上げます。また、今年度から主要地方道網野岩滝線外村バイパスの用地買収や埋蔵文化財調査を進めていただき、本格的なバイパス整備が始まったことに対しまして、たいへん感謝しています。

国内で2例目となるミサイル防衛用早期警戒レーダーが配備されている米軍経ヶ岬通信所は、我が国の安全保障上欠かすことのできない重要な防衛施設であると考えています。

しかしながら、京丹後市内においては、まだまだ道路整備が十分ではなく、今年度に経ヶ岬通信所内に隊舎が完成したことに伴い、交通量が増えることによる交通事故の心配があり、防衛施設に対する住民の理解を得る上でも、道路整備は切実かつ喫緊の課題となっています。

また、道路は、近年頻発激甚化する自然災害への対応や緊急輸送・避難路として、ますます重要な役割を持つ社会インフラとなっています。さらには、防衛施設への連絡道路は、いかなる状況下にもアクセスが確保される信頼性が必要不可欠であり、早急な整備が安全・安心の確保に大きく貢献するものと確信しています。

つきましては、現在、京都府において事業中の下記道路事業が早期に完成するよう必要な予算確保と京都府へ要望中の下記道路事業に対する格別の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

(事業中の道路事業)

主要地方道浜丹後線（上野平バイパス）

一般府道間人大宮線（丹後弥栄道路・丹後工区）

主要地方道網野岩滝線（外村バイパス）

(要望中の道路事業)

国道178号（「仮称」屏風岩橋）

令和3年11月17日

近畿中部防衛局

局長 竹内 芳 寿 様

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 松 本 聖 司

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 松 本 聖 司

副会長 池 田 恵 一

副会長 櫻 井 祐 策

幹 事 谷 津 伸 幸

幹 事 中 野 勝 友

幹 事 永 井 友 昭

幹 事 水 野 孝 典

金 田 琮 仁

川 戸 一 生

多賀野 一 彦

富 田 恵 輔

浜 岡 大二郎

鳴 海 公 軌

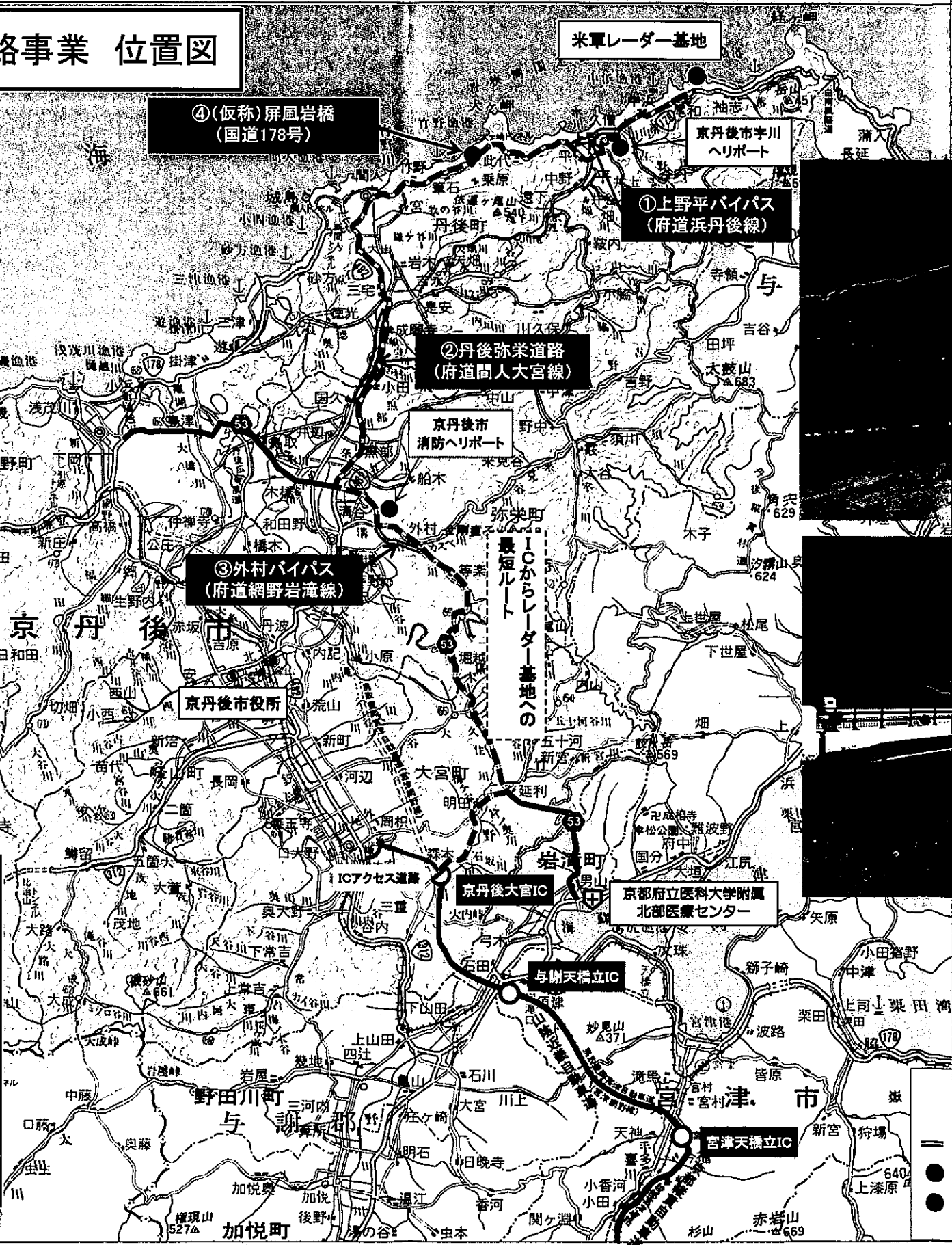
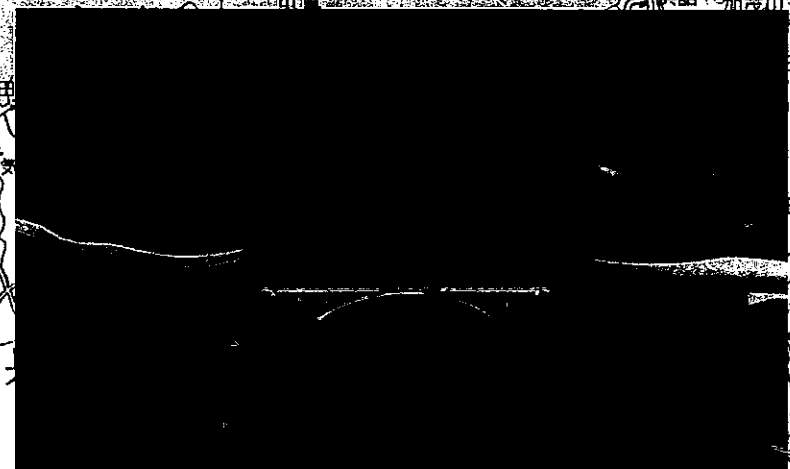
東 田 真 希

平 井 邦 生

和 田 晋

和 田 正 幸

京丹後市における防衛省関連道路事業 位置図



凡例

- 防衛省関連道路事業(府事業)
- 米軍関連施設
- 防衛省関連事業(市事業)

要 望 書

令和 3 年 1 1 月

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

要 望 書

山陰近畿自動車道は、日本海沿岸国土軸を形成する重要な道路でありながら、日本海側唯一の高速道路のミッシングリンクになっており、全線事業化の目途さえ立っていない状況です。

特に道路ネットワークの構築は、あらゆる産業の振興や救急医療など市民生活に直結し、本市が将来にわたって発展していくうえで最も重要な課題であります。

また、近年は、記録的な豪雨や大型大風などによる自然災害が頻発化・激甚化しており、このような自然災害への事前の備えは、喫緊の課題となっています。

国においては、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を策定し、地方においても国土強靱化対策に積極的に取り組み、成果をあげているところです。

つきましては、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の目標を確実に達成するための必要な予算を確保いただくとともに、新型コロナ収束後の官民を挙げた経済活動のV字回復と物流・観光等の経済活動復興のための道路整備として、山陰近畿自動車道の全線早期完成に向け、次のことを要望します。

- 1 大宮峰山道路の早期完成に向け、事業の推進を図られたい。
- 2 大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでを早期に事業化されたい。
- 3 府県境までの区間について、地元希望ルート帯に配慮し、早期にルートを決定されたい。

令和3年11月17日

近畿地方整備局

局長 東 川 直 正 様

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 松 本 聖 司

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 松 本 聖 司

副会長 池 田 恵 一

副会長 櫻 井 祐 策

幹 事 谷 津 伸 幸

幹 事 中 野 勝 友

幹 事 永 井 友 昭

幹 事 水 野 孝 典

金 田 琮 仁

川 戸 一 生

多賀野 一 彦

富 田 恵 輔

鳴 海 公 軌

浜 岡 大二郎

東 田 真 希

平 井 邦 生

和 田 晋

和 田 正 幸

要 望 書

令和 3 年 1 1 月

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

要 望 書

京都府北部に位置する京丹後市は、世界認定の山陰海岸ジオパークに代表される豊かな自然やその景観、四季折々の山海の幸とともに悠久の歴史に育まれた優れた文化を有し、これらの地域資源の連携・活用を図りながら新しい価値観を創造し、地域の再生を目指して懸命な努力を続けています。

特に道路ネットワークの構築は、あらゆる産業の振興や救急医療など市民生活に直結し、本市が将来にわたって発展していくうえで最も重要な課題であります。

しかし、山陰近畿自動車道は、日本海沿岸国土軸を形成する重要な道路でありながら、日本海側唯一の高速道路のミッシングリンクとなっており、全線事業化の目途さえ立っていない状況です。

また、近年発生している地震災害や豪雨災害においては、道路ネットワークの確立と防災力強化の必要性が再認識されており、危機管理・防災体制の強化の上でも都市部と連結する高速道路ネットワークの整備が重要不可欠です。

つきましては、次の要望を実現していただくようお願い申し上げます。

- 1 大宮峰山道路及び峰山インターアクセス道路の早期完成に向け、事業の推進を図られたい。
- 2 大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでを早期に事業化されたい。
- 3 府県境までの区間について、地元希望ルート帯に配慮し、早期にルートを決定されたい。
- 4 防災機能の向上を図るため、緊急輸送道路の安心・安全な通行環境の確保を図られたい。

令和3年11月17日

京都府知事 西 脇 隆 俊 様

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟
会 長 松 本 聖 司

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 松 本 聖 司

副会長 池 田 恵 一

副会長 櫻 井 祐 策

幹 事 谷 津 伸 幸

幹 事 中 野 勝 友

幹 事 永 井 友 昭

幹 事 水 野 孝 典

金 田 琮 仁

川 戸 一 生

多賀野 一 彦

富 田 恵 輔

浜 岡 大二郎

鳴 海 公 軌

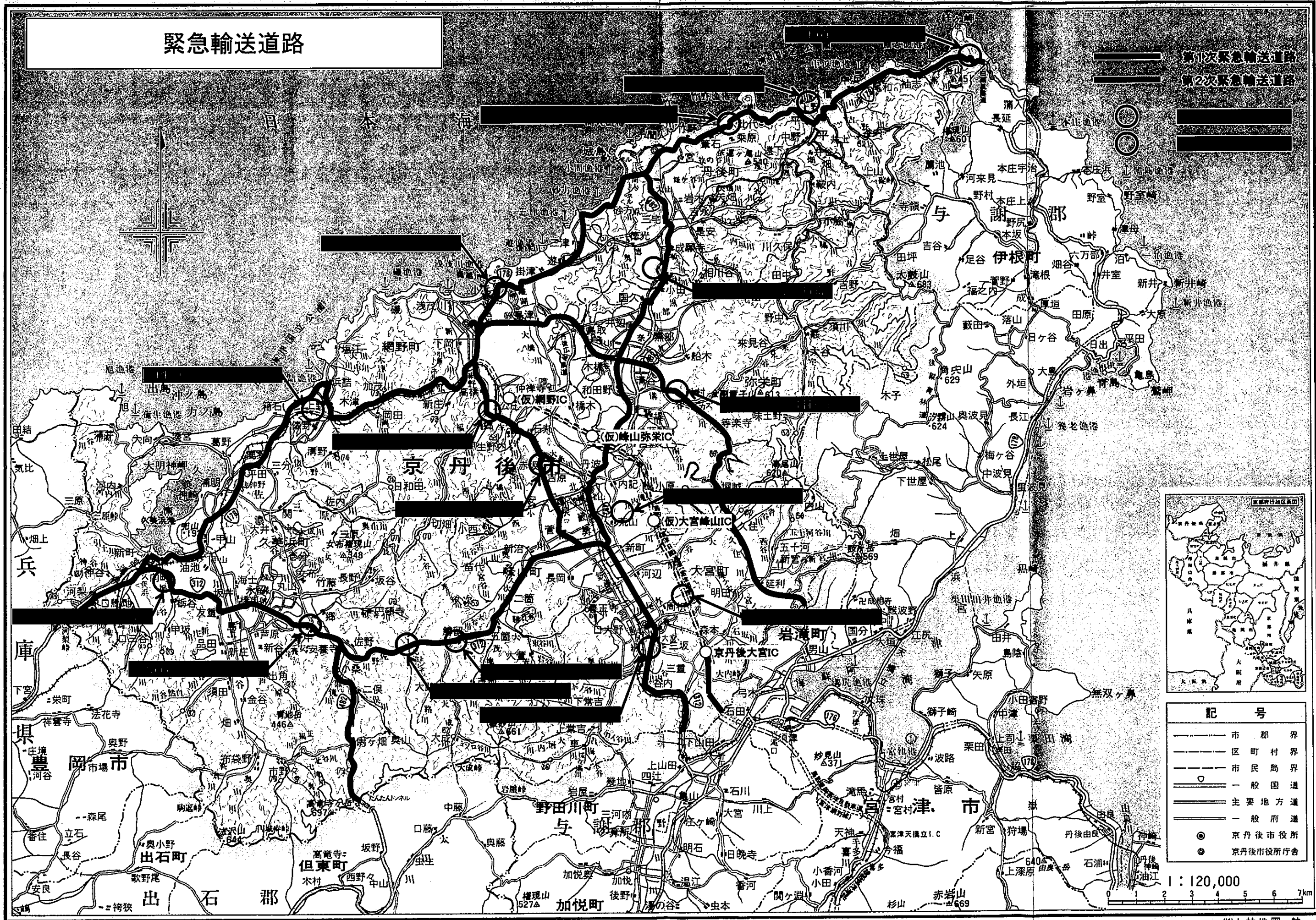
東 田 真 希

平 井 邦 生

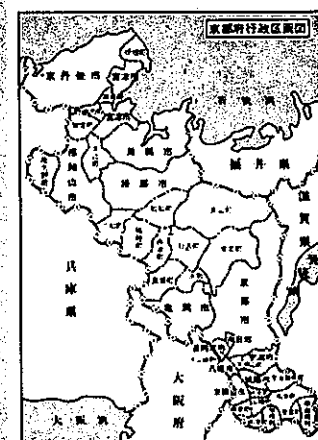
和 田 晋

和 田 正 幸

緊急輸送道路



第1次緊急輸送道路
第2次緊急輸送道路



記号	
——	市界
——	区界
——	町界
——	村界
——	市民局界
○	一般国道
——	主要地方道
——	一般府道
●	京丹後市役所
◎	京丹後市役所庁舎

1 : 120,000
0 1 2 3 4 5 6 7km